9 日本国特許庁(JP)

10 特許出願公開

⑫ 公 關 特 許 公 報 (A)

昭63-221738

DInt Cl.4	識別記号	厅内整理番号		砂公開	昭和63年(198	8)9月14日
H 04 L 11/20 G 06 K 9/03	101	C - 7830 - 5K Z - 6942 - 5B				
H 04 N 1/00	104	Z -7334-5C				
1/387	107	A 7334 5 C 8420 5 C	審查請求	未請求	発明の数 1	(全4頁)

❷発明の名称

フアクシミリ蓄積交換システムの光学文学認識処理方式

劉特 顧 昭62−55972

会出 願 昭62(1987)3月11日

母 発明者 水鳥

洋 --

東京都日野市旭が丘3丁目1番地の1 株式会社東芝日野

工場内

愈出願人 株式会社東芝

切代 理 人 弁理士 木村 高久

明 福 書

1、発明の名称

ファクシミリ 著 積 交換システムの 光学文字器 毎 40 相 ちず

2、 特許請求の範囲

ファクシミリ酸酸から伝送されてきたイメージ情報を光学文字課練処理することによりパターン情報に関係し、このパターン特報を記載装置に替係するようにした香格交換装置を解えたファクシミリ帯敬交換システムの光学文字課業処理方式において、

的記ィメージ情報および前記パターン情報を外部ワークステーションに送受するためのインタフェース手段を設け、位記外部ワークステーションにおいて選イメージ情報および歌パターン情報を 比較することにより族パターン情報を修正するようにしたことを特徴とするファクシミリ茶質交換 システムの光学文字監集処理方式。

3.見明の詳細な説明

(鬼明の目的)

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(産業上の利用分野)

本見削は、ファクシミリ苗様交換システムの 光学文字経験処理方式に関する。

(位米の政務)

内知のように、ファクシミリ数額交換システムにおいては、イメージ的報(例えばOCRを思うをファクシミリ装置から有線を通じて青萄交換医製に伝送し、この各倫交換装置における光学文字器減接避(以下OCRと称す)によってイメージ質性を認識してパターン情報を形成し、このパターン情報を修正して特格学校に表現する。

世来、併記パターン情報を経正すること、書名のCRターン情報を経正するはCRRを提供していませ、CRRを提供していた。 ・ では、では、では、CRRをできませ、このでは、CRRをできませ、のでは、CRRをできませ、のでは、CRRのでは、CRRのでは、CRRのできません。 ・ では、CRRのできませんが、CRRのできませんが、CRRのでは、CRRのできませんが、CRRのでは、CRRのできませんが、CRRのできた。 ・ では、CRRのできませんでは、CRRのできた。 ・ では、CRRのできた。これでは、CRRのできた。 ・ では、CRRのできた。 ・ では、CRRのできた。 ・ できた。 ・ できたた。 ・ できた。 ・ できた。 ・ できた。 ・ できたた。 ・ できた。 ・ できた。 ・ できた。 ・ できたた。 ・ できた。 ・ できたた。 ・ でき

特開昭63-221738(2)

接着の周辺の状況および事所等によって限定されるない。 るな蓄積交換装置の能力ではバターン情報の様式 が節に合わないようなことがあった。また、パッ 一ン情報の住途を新研交換接触の周別、例えばター たので、蓄積交換接触がら離れた場所、例えばファクシミリ接種側で自らイメージ情報とバターン 質相を比較してはバターン質報を感正するような ことができなかった。

(発明が解決しようとする問題点)

このように従来のファクシミリ毒類交換管置では、ファクシミリ装置から蓄額交換装置に多量のイメーツ質根が伝送されてきた場合にはパターン質報の概正が間に合わなかったり、また蓄積交換を確の偽立でしかパターン情報を修正することができないという問題点があった。

そこで、本理明はパターン情報の祭正を場所を 但定せずに効率及く行うことが可能なファクシミリ

夢稿交換システムの光学文字器数処理方式を発 供することを目的とする。

(発明の構成)

図面は本発明に係る光学文字深級处理方式を項用したファクシミリ香稿交換システムの一実施例を示すプロック図である。この実施例における香色交換装置1には、名電話図録2を通じて各ファクシミリ装置3ー1~3ー n が交換接続されるとともに、各選信回線4を通じて各ワークステーション5-1~5-m が接続されている。

(問題点を解決するための手段)

(作用)

本見明によれば、蓄積交換容費から避れた場所にワークステーションを設置し、このワークステーションを設置し、このワークステーションでパターン情報を修正することができる。

(実施例)

以下、本理明の実施別を設付図面を参照して評価に設明する。

質性を光学的に温波して試名イメージ例程に対応 する名パターン関係を形成し、これらのパターン 質別をCPU8に伝達する。CPU8 せこれらの パターン質権を疑気ディスク部9 に装額させる。

このとき、例えばワークステーション5 - mに 分配されたパターン賃貸および款パターン債額に 対応するイメージ賃貸は、味ワークステーション5 - mにおける1/0インターフェース回路12 を介して中央処理保留(以下CPUと称す)13

特開昭63-221738 (3)

に伝達される。CPU13はパターン前租および 袋パターン質能に対応するイメーク質 服を表示装 閏14に汲示させる。ここで、表示義職14に表 **示されたパクーン角権および取パターン質報に対 あするイメージ的確を比較し、例えば図示しない** コンソールを操作してパターン気報を臨正する。 ただし、この底正はOCR10によるイメージ質 性の認識にエラーがある場合に行うものである。 CPU13はパターン保証の修正が終了すると、 修正されたパターン物組および族パターン精複に 対応するイメージ質解を記憶表成15に記憶させ るとともに、これらの有根を1/0インタフェー ス回路12から通信回収4を通じて要額交換祭費 1へ伝送する。そして、これらの情報はワークス テーション用インターフェース回路11を介して CPUBに伝達される。CPUBは促正されたパ ターン賃借および気パターン賃貸に対応するイメ ージ角役を磁気ディスク部9に基準させる。

 れ、修正されたパターン領報および終パターン領報に対応するイメージ領報が蓄積交換装置 1 に伝送されて組織ディスク部 9 に審領される。

したがって、パターン領領の修正を蓄積交換模型 1 からばれた各ワークステーション 5 - 1 ~ 5 - mで行うことができ、各ファクシミリ 複数 3 - 1 ~ 3 - n から多品のイメージ係根が寄荷交換装置1に伝送されてきても、これに対処することができる。

パターン情報の修正をより正確に行うことができ る。

(発明の効果)

以上説明したように本発明によれば、、 B 植交換型から離れた場所にワークステーションを設置し、このワークステーションでパターン 仮報を むできることができるため、パターン 情報の修正 を場所を限定せずに効率良く行うことが可能なファクシミリ B 福交換システムの光学文字認識処理方式を提供することができる。

4、 図面の簡単な説明

図面は本理明に係る光学文学課象処理方式を 適用したファクシミリ帯 破交換システムの一実施 例を示サプロック菌である。

1 … 普稿交換装蔵、2 … 電話画線、3 - 1 ~ 3 - n … ファクシミリ 長窓、4 … 通信回報、5 - 1 ~ 5 - m … ワークステーション、8 … 交換機、7 … 通信制制部、8 … 中央処理装置、9 … 組 気ディスク部、10 … 光学文字型 路袋屋、11 ー ワークステーション用インタフェース回路、12

… | / O インタフェース 回路、 1 3 … 中央 25 理 会 で、 1 4 … 表示 装置、 1 5 … 配置 装置

化理人分配士 木 村 海 久



特別昭63-221738(4)

